

2015ジャカランダフェスティバル 市民感謝デーの開催!

昨年初開催し、大好評を博しました第2回ジャカランダフェスティバルを平成27年6月21日(日)に開催致しました。

今年は昨年の反省点を生かし、以下の3つを追加致しました。

①フェスティバルに相応しい賑やかさの演出：地域連携から生まれた企業様・団体様に15ブースご出店頂く。また、キッズパフォーマンスとして、5団体様のチアダンスとフラダンスチームにご出演頂く。

②大学らしさの演出：無料歯科健診・相談、放射線科による「骨密度測定」及び川上准教授による体験型無料講話を開催する。

③スタッフの増員：昨年より30名多い60名のスタッフを各セクションに分け、セクションリーダーを選任し、万全の迎え入れ体勢を敷く。

また、今回のメインイベントであるスペシャルライブには、ヴァイオリニストのNAOTO様、ゲストヴォーカルとして、土屋アンナ様の出演が決定し、大きな話題となりました。

フェスティバル当日は、どんよりと曇った空模様となり、いつ雨が降ってもおかしくない天

候でしたが、開場時間(10時)を待たずに多くの方々に越え頂き、大盛況を予感させました。雨が心配される中、ご出店者様の元気な声飛び交い、ジャカランダ前は活気に満ちた空間となり、揃いのフェルメールブルーのポロシャツとケイディ君Tシャツを着たスタッフが来場者お一人お一人に笑顔で対応し「来場者に喜んで頂く」事で心ひとつに団結することができました。スタッフの笑顔は大変素晴らしいものでした。出足好調の中、心配された雨が降り出し、ご出店者様のブースは、幾度か移動を余儀なくされましたが、小雨程度で客足には影響は感じられませんでした。

オープニングである川上准教授の体験型講話には、約100名参加いただきました。その後、チアダンスのパフォーマンスが中庭で始まりました。小さな子供達が懸命に踊る姿に立ち止まり、魅了され、思わず笑顔になってしまうほど会場を盛り上げてくれました。また、今年も本学オリジナルの「フェルメールブルーのカクテル(ノンアルコール)」を来場者に振る舞いました。グラスの底に溜まる真青な

ブルーに炭酸泡と水が混ざる涼感溢れるカクテルは大好評でした。その他、無料歯科健診・相談と骨密度測定には、長蛇の列が出来ており、田中歯科器械店様の「スタンプラリー」にも長い列ができておりました。

1,500枚用意したパンフレットが無くなり、学生食堂は予定数200食を超える230食の報告を伺いながら、相変わらず人で埋まっているジャカランダ、ゆるキャラ達を囲む子供達を見た時「来場者記録を出せる?!」という、心境が変わっていきました。

今回のメインであるスペシャルライブは、事前申込制で完全指定席とし、約1,000名の申込の中から800名の方が選ばれました。照明が落ちNAOTO様がステージに登場すると客席のボルテージは一気に上がりまします。通常のクラシックなステージとは異なり、バンド編成のステージは新鮮でありながらもパワフルなステージとなりました。中盤に差し掛かったところで、ゲストボーカル土屋アンナさんがコールされ、ステージに登場すると客席のボルテージは頂点に達しました。最近のTVで見せるコメディタッチのアンナさんとは異なり、ボーカリスト土屋アンナとして、素晴らしい歌声を披露していただきました。また、お二人のトーク

はユーモア溢れた一面を魅せ、NAOTOさんが困惑する場面が見られましたが、息の合ったステージには、大いに開場を魅了しました。アンコール後にはサプライズとして、ケイディ君と横須賀スカレーからお二人に花束贈呈があり拍手の中、90分のスペシャルライブは終了致しました。スペシャルライブが終了したころには、雨が若干強くなり、帰路につく方が多く目につきました。盛り上がりをもてたジャカランダフェスティバルは終了(16時20分)となりました。

小雨が降りしきり中、会場内を片付けるスタッフの顔はもはや笑顔は無く、疲労困憊といったところでしょうか。それでも懸命に作業に取り組んで頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。最後に「今日の入場者数知りたい」との無線が入り、その数字に驚愕致しました。なんと2,476名の来場者数でした。昨年が1,300名だったので、今回の予想は1,500名としておりましたが、それを遥かに上回り、これもひとえに教職員皆様方のご尽力の賜物と深く感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

なお、次回のフェスティバルは、2016年6月19日に開催予定です。(実行委員 勝野賢一)



Photo by Ai Tojima



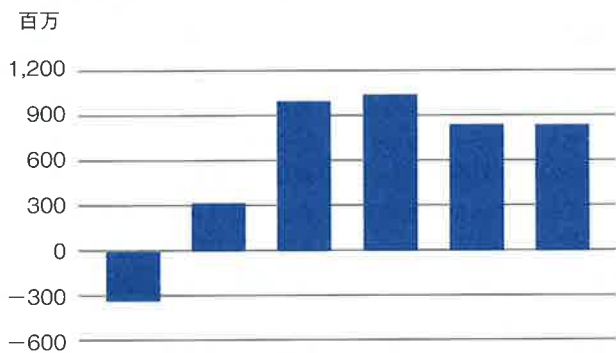
平成26年度決算について

平成26年度は、歯学部新入生の初年時納付金を大幅に減額したため、学生生徒納付金は昨年度に比較して約3億3500万円の減収となりました。減額の目的は、早い時期での進路再考や、初年時における保護者の経済的負担軽減です。また、医療収入は昨年度よりも5000万円ほど増収しましたが、有価証券売却差額の収入増等、昨年度は臨時的な収入も多く、結果的に本年度は昨年度よりも4億8000万円の収入減となりました。

一方、支出は昨年度に比較して、約2億円の支出減となりました。退職者の減少による退職金支給額、奨学費支出、教育研究費そして管理経費等の支出減

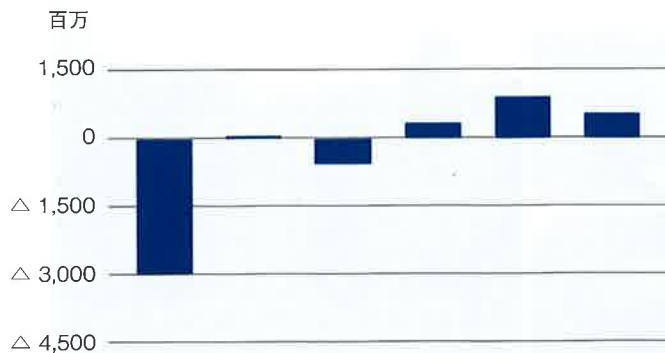
に起因しています。このように、収入は減少しましたが大学の永続性を担保する帰属収支差額は、昨年度に引き続き5億3000万円の黒字化を達成することができました。それには、減損処理した金融公社債の満額償還益約1億7000万円が含まれています。その償還益を除いても平成26年度の経常的な帰属収支差額は、3億6000万円の黒字となります。平成22年度から着手した財政改革以来、多少の増減はあるものの学校法人経営判断指標である教育研究キャッシュフローと帰属収支差額は黒字を維持し、今年度もAランクに格付けされることとなります。(理事長 鹿島 勇)

教育・研究キャッシュフロー(大学として体を成すための必要最低条件)



21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度

帰属収支差額(大学としての永続性を担保する経営判断指標)



21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度

1. 消費収支計算書 26年4月1日から27年3月31日まで (単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,342,080,000	3,342,377,500	▲ 297,500
手数料	40,900,000	43,552,410	▲ 2,652,410
寄付金	15,350,000	16,557,838	▲ 1,207,838
補助金	507,220,000	511,881,526	▲ 4,661,526
国庫補助金	496,900,000	501,557,000	▲ 4,657,000
地方公共団体補助金	10,320,000	10,324,526	▲ 4,526
資産運用収入	35,340,000	74,353,169	▲ 39,013,169
資産売却差額	170,770,000	170,880,000	▲ 110,000
事業収入	2,488,690,000	2,466,093,040	▲ 22,596,960
雑収入	335,370,000	351,202,498	▲ 15,832,498
帰属収入合計	6,935,720,000	6,976,897,981	▲ 41,177,981
基本金組入額	▲ 357,980,000	▲ 320,279,160	▲ 37,700,840
消費収入の部合計	6,577,740,000	6,656,618,821	▲ 78,878,821

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,759,670,000	3,763,760,430	▲ 4,090,430
教育研究経費	1,965,388,148	1,875,724,553	89,663,595
管理経費	843,821,735	789,287,786	54,533,949
資産処分差額	16,220,000	17,334,024	▲ 1,114,024
徴収不能引当金繰入額	5,000,000	164,918	4,835,082
(予備費)	[67,969,883]		52,030,117
	52,030,117		
消費支出の部合計	6,642,130,000	6,446,271,711	195,858,289
当年度消費収入超過額	0	210,347,110	
当年度消費支出超過額	64,390,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	6,410,250,000	6,410,245,593	
基本金取崩額	201,500,000	199,609,605	
翌年度繰越消費支出超過額	6,273,140,000	6,000,288,878	

2. 資金収支計算書 26年4月1日から27年3月31日まで (単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,342,080,000	3,342,377,500	▲ 297,500
手数料収入	40,900,000	43,552,410	▲ 2,652,410
寄付金収入	6,280,000	11,243,000	▲ 4,963,000
補助金収入	507,220,000	511,881,526	▲ 4,661,526
国庫補助金収入	496,900,000	501,557,000	▲ 4,657,000
地方公共団体補助金収入	10,320,000	10,324,526	▲ 4,526
資産運用収入	35,340,000	74,353,169	▲ 39,013,169
資産売却収入	300,000,000	300,000,000	0
事業収入	2,488,690,000	2,466,093,040	▲ 22,596,960
雑収入	335,370,000	348,793,816	▲ 13,423,816
前受金収入	440,950,000	479,280,000	▲ 38,330,000
その他の収入	1,696,170,000	1,834,861,067	▲ 138,691,067
資金収入調整勘定	▲ 907,700,000	▲ 945,027,900	37,327,900
前年度繰越支払資金	4,921,300,000	4,921,302,115	
収入の部合計	13,206,600,000	13,388,709,743	▲ 182,109,743
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,786,690,000	3,814,526,370	▲ 27,836,370
教育研究経費支出	1,425,478,148	1,330,908,751	94,569,397
管理経費支出	743,521,735	688,420,864	55,100,871
施設関係支出	325,551,560	328,265,720	▲ 2,714,160
設備関係支出	115,204,444	108,883,996	6,320,448
資産運用支出	129,230,000	146,975,133	▲ 17,745,133
その他の支出	1,669,501,780	1,476,695,144	192,806,636
(予備費)	[74,417,667]		45,582,333
	45,582,333		
資金支出調整勘定	▲ 334,340,000	▲ 381,010,933	46,670,933
次年度繰越支払資金	5,300,180,000	5,875,044,698	▲ 574,864,698
支出の部合計	13,206,600,000	13,388,709,743	▲ 182,109,743

3. 貸借対照表 27年3月31日まで (単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	22,711,763,658	22,960,345,702	▲ 248,582,044
有形固定資産	15,790,743,485	16,008,869,722	▲ 218,126,237
その他の固定資産	6,921,020,173	6,951,475,980	▲ 30,455,807
流動資産	6,435,190,841	5,727,792,281	707,398,560
資産の部合計	29,146,954,499	28,688,137,983	458,816,516
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,228,138,852	2,278,904,792	▲ 50,765,940
流動負債	907,899,896	928,943,710	▲ 21,043,814
負債の部合計	3,136,038,748	3,207,848,502	▲ 71,809,754
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	31,261,204,629	31,140,535,074	120,669,555
第3号基本金	86,000,000	86,000,000	0
第4号基本金	664,000,000	664,000,000	0
基本金の部合計	32,011,204,629	31,890,535,074	120,669,555
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	6,000,288,878	6,410,245,593	▲ 409,956,715
消費収支差額の部合計	▲ 6,000,288,878	▲ 6,410,245,593	409,956,715
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増減
	29,146,954,499	28,688,137,983	458,816,516

新病院建築について — コンセプトと進捗状況 —



新病院プロジェクト委員会委員長
副病院長 木本克彦

平成 27 年 5 月 18 日（月）、小川町駐車場の解体工事が始まり、予てから計画されていた新病院建設がいよいよ着工することになりました。昭和 44 年の開院からすでに 46 年の歳月が経ち、本学の歴史と共に歩んできた今の附属病院は老朽化が進み、そのお役目を終わろうとしています。

本学にとって今回の新病院プロジェクトは、半世紀に一度の大事業であり、大学の成長戦略における財政再建が第一の矢とすれば、新たに第二の矢が放たれたこととなります。

新病院プロジェクト委員会が掲げた新病院のテーマは、「横須賀三浦地域での歯科診療の拠点としての、地域住民・医療機関から選ばれる病院を目指す」です。具体的には大きな 4 つのコンセプトから構成されており、1 つ目は、「診療機能の強化」です。周辺地域の歯科診療所では対応困難な高度・先進・特殊診療及び医科との融合した全身管理を積極的に行い、地域連携の拠点病院としてこれまで以上に多くの役割を果たしたいと考えております。2 つ目は、「施設機能の整備」です。災害対応機能の整備・IT 化や高齢社会への対応など地域ニーズ・診療技術の進歩に対応した最新・最適な診療の提供を可能とします。3 つ目は、「教育・研修の充実」です。教育機関でもある本学においては、将来を担う質の高い歯科医師を育成するために、スチューデント・ドクタールーム（SD 室）やグループ学習室などを新設し教育・研修環

境の充実を図ります。4 つ目は、「施設環境の整備」です。働きやすい環境の創出や医療安全への配慮など、患者（家族）と教職員にとって安全かつ快適な診療環境を整備します。そしてこれら 4 つのコンセプトが相互に結びついた新世代の歯科総合病院の創生を目指します。

それでは、設計段階ではありますが、新病院の建築概要と各階の機能構成についてご紹介します。はじめに建築概要ですが、新病院の 1 フロアーの延べ床面積は約 2,340m²、今の附属病院の約 2 倍の広さに、地上 12 階建ての鉄骨造（耐震構造）の病院が建築されます。延べ床面積は全部で約 15,700m²、病床数 23 床（個室：11 室、4 床室：3 室）、診療ユニット約 150 台、想定外来患者数は約 800 人／日を予定しています。日影規制の関係から、段々畑のような構造になりますが、これがかえってシンボリックな建築デザインを生み出す結果となりました。また、各階の機能構成ですが、1 階は、エントランスホール・受付、障害者・高齢者歯科、カフェ、院務、薬局が入り、2

階は、予診科、総合診療科、矯正歯科、小児歯科、3 階は、高度先進診療科（補綴科、保存科、口腔インプラントセンターなど）、4 階は、口腔外科、医科、麻酔科、放射線科、5 階は、病棟、手術室となり、入院患者がゆったりと療養に専念できるよう空中庭園も配備される予定です。また 6 階から 9 階までは、技工室、臨床研修センター、講義室、臨床系研究室など学生・教員用のスペースを確保しました。さらに、10 階には東京湾が一望できる患者・職員レストラン、11-12 階は、災害センター・臨床研究支援センター・地域連携室等を予定しています。

現在、新病院プロジェクトは基本設計が終了し、各診療科の具体的なレイアウト等を決める実施設計の段階に入り、これからが新病院プロジェクトの本番とも言える時期に差し掛かっています。平成 29 年 9 月（予定）の開院を目指し、今後とも教職員の方々のご協力を承りますよう宜しくお願い申し上げます。



国道 16 号側



大学側（4.5 階に空中庭園）

神奈川歯科大学学修管理システム (KDU-LMS)の拡充

平成26年度から運用し始めた神奈川歯科大学学修管理システム (KDU-LMS) は学生ポータルサイトと連動して学生に種々の情報を提供しています。今年度、さらにコンテンツを増やしました。

情報発信として、「面談」、「アンケート」のコンテンツを増やしました。「面談」は学生相談を今まではクラス主任・担任が個々に情報を記録・管理していました。また、クラス主任・担任は、学年が変更になると学生情報が共有できないということもありました。KDU-LMSでは、直接情報をPCから入力し、データベースを作成することによって、学生個々の情報を経年的に見ることができ、教職員全体で学生の学修・生活を支援することができます。この情報は、

年2回の保護者との懇談会で面談資料としても活用できますし、すでにある「学生情報(出欠席)」と併せて、学生へより充実した指導が可能になります。

新しく導入した教育システムでは教育の質的保証が求められています。学生への教育を充実するため、従来行っている授業アンケートをKDU-LMSに取り込み、授業改善を行っていきたくと考えています。従来の授業アンケートは、情報を図書館に冊子として公開していましたが、学生、教職員ともなかなか情報を共有することができませんでした。このコンテンツでは、学生のアンケート結果を担当した教員以外でも閲覧が可能になり、学生もポータルサイトで確認できます。授業アンケートは学生の学修意欲や教員の授

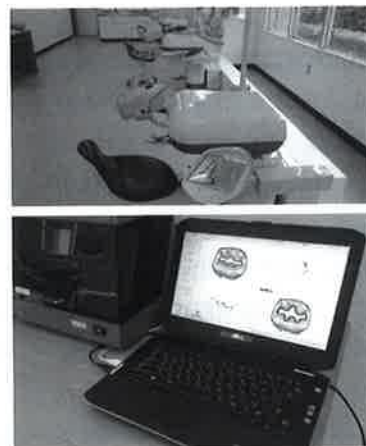
業改善にとって重要な情報で、今後の教育システムの更なる充実が期待できます。また、このKDU-LMSの「アンケート」では授業アンケートの集計だけでなく、各種のアンケート結果の表示・閲覧も可能になっています。

能動的学修を進めるための環境整備は、平成26年度私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費)により学内のWi-Fi環境を整備しました。学内での学生への情報発信がよりスムーズになりました。現在、「問題作成」のコンテンツをKDU-LMSに発信する予定です。この「問題作成」を利用して、自己学修支援のために問題演習などを発信していきたいと考えています。また、平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金により臨床研修センターにスキルラボラトリーを設置しました。臨床技

能トレーニング用のシミュレータで、学生・研修医教育に活用できます。スキルラボラトリーはマネキンや模型等をはじめとする各種シミュレータを用いて、診療における一連の臨床手技をトレーニングするための部屋で、治療者にとって臨床技能を向上させるためのトレーニング環境を提供しています。

今後、「学生カルテ」を充実し、教学IRと協働してKDU-LMSを通して、教育の改善・充実を図っていきたくと考えています。

(総合教育部 湯山徳行)



全学防災訓練

平成27年6月19日(金)全学防災訓練を実施しました。震度5弱の地震が発生し、負傷者や火災が発生するという想定での訓練でした。小雨模様の中、屋外での中央消防署と本学の自衛消防隊との連携放水訓練や非常食の配給訓練は実施できませんでしたが、各建物内で避難・救護・消火の訓練を実施しました。

避難訓練では、緊急地震速報で身の安全を守る体勢をとり、揺れが収まって避難路を確認しながら建物出口までの避難でした。

また、救護の訓練では、新しく1号館から4号館最上階に設

置しました4台の非常用担架を使用して、学生に担架の組み立てから負傷者の搬送を体験してもらいました。

消火訓練では、本部棟、附属病院の2棟で火災発生時の初期消火訓練として、消火班の方々に出火場所に急行し、近くの屋内消火栓ボックスからホースを延長して放水体勢をとってもらいました。

短い時間でしたが、教職員・学生の皆様に参加いただき、大きな成果が上げられたと思います。ありがとうございました。最後に非常用品の用意についてお知らせいたします。本日の訓

練で使用した担架もそうですが、エレベーターの閉じ込め事故対策として、飲料水、簡易ト

イレなどを収納したイスを設置しました。みなさん一度、座ってみてください。



消火訓練



災害用エレベーターチェア

平成27年度 弓削朝子研究奨励賞 受賞者、陽 暁艶先生に決定

本年4月、弓削朝子研究奨励賞の募集（第11回目）を行いました結果、8名の応募がありました。神奈川県立歯科大学弓削朝子研究助成委員会、教授会の議を経て、受賞者が決定いたしました。

【平成27年度弓削朝子研究奨励賞受賞者】
口腔科学講座 陽 暁艶 特別研究員
研究課題 「多段階癌抑制分

子CXCL14による癌細胞の分化誘導による癌抑制の分子機構の解明」

研究奨励金 395,954円

※弓削朝子研究奨励賞

神奈川県立歯科大学名誉教授 故弓削朝子先生からの寄贈基金によって運用されている学内研究者を対象とした研究奨励のために支給される補助金です。

平成17年4月より10年間という期限で行われた弓削朝子奨励賞につきましては、今回の応募をもって終了となります。これまで本学の学術研究のために多大なるご寄附を賜り、故弓削朝子先生並びにご親族の皆様にご心より感謝申し上げます。

神奈川県立歯科大学第46回諸霊供養の会

第46回諸霊供養の会を平成27年4月11日（土）本学大講堂にて執り行いました。

当日は、平田学長・峯村局長・井野院長の3名の理事と、ご来賓として、沼田芳明横須賀副市長、会員様、ご遺族様、ご来賓、教職員、歯学部3年生・6年生代表、短期大学部看護・衛

生学科学学生代表ら、総勢500名の方々にご参列賜りました。榎木副学長による進行で、式典は厳かに始まり、峯村局長の開会のことばに続き、井野院長より、平成26年度にご成願された35名の方のご芳名拝読の後、その方々を加えた献体者ご芳名帳と法医学解剖・検案をさ

せて頂いた150名の方々のご芳名帳を、松尾准教授と津田客員教授・長谷川特任教授の手で祭壇中央に奉納致しました。平田学長からご献体成願者1928柱の御霊と法医学解剖1220柱の御霊に対する慰霊の言葉に続き、3年生代表朴宰賛さんと中島千佳子さんがご献体者様にご遺族様に対する深い感謝の気持ちが込められた弔辞を読み上げまし

た。会場には、ハーブ奏者小堀真梨様による生演奏が穏やかに奏でられ、参列者全員が献花を行い、解剖諸霊位のご冥福を祈って礼拝しました。その後、昨年建立した解剖慰霊碑の一年祭を執り行い、平成27年度合同慰霊祭は無事滞りなく終了いたしました。

学会 各賞を受賞

【第20回日本集団災害医学会】

■優秀演題賞

平成27年2月26～28日に立川市で開催されました第20回日本集団災害医学会にて、本学横須賀湘南地域災害医療歯科学センターから文科省私立大学戦略的基盤形成事業（平成24～26年度）のプロジェクトリーダー11名が3年間の研究成果を発表しました。374演題中、

咀嚼機能制御補綴学講座 星憲幸先生の「災害時における義歯治療とケアに関する研究-緊急時義歯製作とセルフクリーニングデンチャーの開発-」と災害医療歯科学講座法医学歯科学 山本伊佐夫先生の「遺体様歯科マネキンを用いた身元確認研修プログラム」が優秀演題賞に選出されました。

【日本歯科保存学会】

■優秀発表賞

2014年度秋季学術大会（第141回、山形市）における優秀ポスター賞の受賞演題の表彰式が、2015年度春季学術大会（第142回、北九州市）にて行われ、保存修復学分野（ジーシー優秀ポスター賞、「歯肉線維芽細胞へブルーライト照射が及ぼす影響の検討」）にて、口腔科学講座光歯科医学分野 特別研究員 吉田彩佳、准教授 吉野文彦に表彰状・表彰楯および副賞が授与されました。

■優秀論文賞

平成27年6月25日～26日に小倉で開催された日本歯科保存学会2015年度春季学術大会において、う蝕制御修復学講座 實吉安正先生が日本歯科保存学会カボデンタル優秀論文賞を受賞されました。本賞は2014年度の日本歯科保存学雑誌に掲載された保存修復学分野論文の中で最優秀論文と認められたものに贈られる賞です。受賞論文は保存学雑誌57巻6号に掲載された「フッ化物含有ホームブリーチング剤の歯質脱灰抑制能」です。



横浜クリニックインプラント室の開設

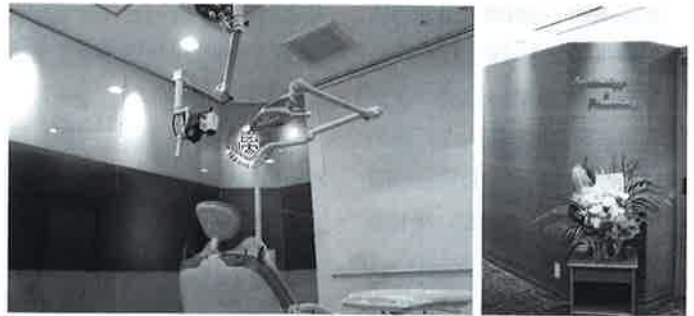
インプラント科改装について

平成27年5月8日(金)より、横浜クリニックインプラント科の増設改装エリアの本格的な運用を開始いたしました。これまでの診療室に加え、ユニット5台(オペ室ユニット1台)を増設しました。特にオペ室は、見

学可能な環境設定を構築するという概念から、詳細な手術状況をモニターにて提示し、さらに手術風景を俯瞰できるようにしました。以上により、学生教育効果は勿論のこと、地域連携ならびに病診連携に貢献できるものと確信いたしております。ま

た、これまで開催してきましたオープンサテライトセミナーも月1回木曜日に実施しておりま

す。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



インドネシア留学生来訪

平成27年4月14日(火)インドネシアより高校生39名と教員3名が本学を訪れました。神奈川県との地域連携パートナーシップ事業の一環として、JTB横須賀支店を通して長井の古民家に泊まるツアーに訪れた際に、「日本の大学生と話し、大学の教育を見たい」というご要望により、実現しまし

た。当日は平田学長、菅谷副学長のご挨拶、大学の紹介・教育方針の説明、附属病院と授業の見学、実習体験、最後に学生食堂にて学生との交流が行われました。特に附属病院見学、実習体験そして、学生との交流では本学独自の雰囲気を楽しんでもらえたようです。ジャカラングフェスティバルなど、本

学は地域連携のために今後も様々な分野で交流を積極的に

図りたいと考えています。



高大連携

〔横須賀学院高等学校との高大連携授業〕

平成26年11月20日(木)及び平成26年11月25日(火)の2日間にわたり、神奈川県と隣接する横須賀学院高等学校との高大連携授業及び実習が行われました。本学にとって初めての連携授業ということもあり、内容に関しては高校生の希望するような内容を数個挙げてもらい、そのうちの2課題(①災害医療～その現場で歯科医療

は何か出来るのか、②歯科材料にみる高分子の化学)を実施しました。11月20日には、災害医療に関する内容で山田教授を中心とし、本学歯科法医学講座より7名の教職員が、横須賀学院にて、約90分の講義と実習を行いました。参加者は28名でした。2回目の歯



科材料にみる高分子の科学では、二瓶准教授を中心に歯科生体材料学講座のスタッフ数名が本学の実習室を使用し、講義、実習を90分程で行いました。参加者は20名程度であり、両日ともに理系への進学を考えている生徒が集まってくれました。平成27年度の秋頃に再度横須賀学院との連携授業・実習を計画しています。多くの生徒が理系の学問、特に歯科医学に興味を持ってもらえることを期待しています。

〔緑ヶ丘女子高等学校と高大連携協定を締結〕

平成27年5月

13日(水)、神奈川県立神奈川歯科大学・神奈川歯科大学短期大学部は、私立緑ヶ丘女子高等学校と教育・研究等に関する協定を締結いたしました。昨年秋に実施した短期大学部教員による出張講義という交流に始まり、今後は同校生徒の歯科医療や看護に対する興味を促す機会として発展させて参ります。



調印式で握手をする平田幸夫学長(左)と外川昌宏校長

教学部だより

歯学部

平成 27 年度

第 1 回授業参観・学年別懇談会

平成 27 年 6 月 11 日（木）、神奈川歯科大学にて第 1 回授業参観・学年別懇談会が開催され、約 157 組の保護者の皆様にご出席いただきました。午前には各学年の講義や実習を見学していただき、午後の全体説明会では平田幸夫学長や槻木恵一副学長・菅谷彰学生担当部長よりご挨拶・カリキュラムについての説明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任の紹介、該当学年の授業や学生のサポート体制について詳しく説明がありました。



全体説明会



特待生表彰式

平成 26 年度「特待生」表彰式

平成 27 年 4 月 21 日（火）、前年度の各学年成績優秀者 15 名が「特待生」として表彰され、平田幸夫学長より一人ひとりに賞状が手渡されました。「特待生」は、年間成績が特に優秀であった者に対し奨学金として次年度の授業料が減免される制度で、学生にとっては勉学の大きな励みとなっています。

【特待生】2 年：入澤貴志、井上麻衣、仲昭典 3 年：上田晴香、陳怡臻、高碩璟 4 年：谷川高、金泰潤、齋木林太郎 5 年：片桐法香、本間優太、木村裕二郎 6 年：相馬聡宏、木内由紀子、武井佑里子

短期大学部

平成 26 年度成績優秀者表彰

平成 27 年 4 月 24 日（金）学長室にて前年度の各学科学年成績

優秀者 4 名が表彰されました。

【歯科衛生学科】2 年：神谷美也子、3 年：鈴木聖奈

【看護学科】2 年：高野由美子、3 年：桑原真咲



歯科衛生学科成績優秀者



看護学科成績優秀者

平成 27 年度保護者会総会懇親会開催

平成 27 年 6 月 3 日（水）15 時より、保護者会総会が開かれ 26 年度青島会長（看護）から、27 年度坪井会長（歯科衛生）に引き継がれ 17 名の役員が紹介されました。（本学 6 号館学生食堂にて）

総会の開催にあたり、平田幸夫学長より本学の近況等を含めご挨拶を頂きました。総会に引き続き行われた懇親会には、保

護者 29 名が参加。学長、短期大学部長、教学部長、学生部長、両学科長をはじめ総勢教員 31 名が参加し、お食事を共にしながら和やかな歓談となりました。

保護者からは「多くの先生に一度にお会い出来ること、子供達の学校での様子を聞けること、不安な事を直接相談出来ること、これは懇親会だけ!」との声が聴かれ、懇親会は大いに盛り上がりつつ閉会となりました。（保護者プロジェクト 平井純子）

大学院ニュース

本年度より大学院に社会連携委員会が立ち上がり、災害医療歯科学文献検索サイトを運営しています。本サイトには、歯科と災害に関する記事や論文、ポスター、CD などの情報を取載しており無料でダウンロードす

ることができます。また、このサイトでは、皆様からの情報提供もお待ちしております。

<http://www.graduate.kdu.ac.jp/ronbunkensaku/>



【歯学部】オープンキャンパス2015 開催日程

日程	体験実習内容
2015年 8月6日(木)	むし歯の治療を体験しよう！ ～足先に歯科医師デビュー～
2015年 8月23日(日)	小児歯科の歯科医師体験！ 乳歯の治療って？ 永久歯のむし歯予防って？
2015年 9月27日(日)	最新の歯科医療を体験しよう！ CAD/CAM体験
2015年 11月15日(日)	入試対策講座 ～学習から学修への誘い～



※詳細はHP・スマホサイトでご確認ください

【短期大学部】オープンキャンパス2015 開催日程

日程	体験授業内容	
	歯科衛生学科	看護学科
2015年8月2日(日)	カラフルマスコットに挑戦！	プレパレーションを学ぼう
2015年8月23日(日)	ミラクルフルーツって ミラクル？!	在宅における看護実践
2015年9月13日(日)	ハブラシをデコっちゃお	妊婦体験からわかること
2016年3月20日(日)	歯科衛生士の仕事	看護師の仕事

【短期大学部】ミニオープンキャンパス 開催日程

日程	内容
2015年 10月11日(日)	施設見学/個別相談
2015年 11月15日(日)	施設見学/個別相談
2015年 12月13日(日)	施設見学/個別相談
2016年 1月10日(日)	施設見学/個別相談



※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

歯学部 2016年度 入学試験実施一覧

歯学部 定員：100名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦1期 (公募制・指定校制)	2015年11月1日(日)	2015年11月4日(水)
推薦2期 (公募制・指定校制)	2015年12月13日(日)	2015年12月15日(火)
卒業生子女・帰国子女・ 外国人留学生1期	2015年11月1日(日)	2015年11月4日(水)
卒業生子女・帰国子女・ 外国人留学生2期	2015年12月13日(日)	2015年12月15日(火)
一般1期	2016年1月30日(土) 1月31日(日)	2016年2月2日(火)
一般2期	2016年2月21日(日)	2016年2月23日(火)
一般3期	2016年3月13日(日)	2016年3月15日(火)
編入1期	2015年11月1日(日)	2015年11月4日(水)
編入2期	2015年12月13日(日)	2015年12月15日(火)
編入3期	2016年1月30日(土)	2016年2月2日(火)
編入4期	2016年2月21日(日)	2016年2月23日(火)
AO1期	2015年9月6日(日)	2015年9月8日(火)
AO2期	2015年11月1日(日)	2015年11月4日(水)
大学入試 センター試験利用1期	2016年1月30日(土)	成績開示後に行います。
大学入試 センター試験利用2期	2016年2月21日(日)	2016年2月23日(火)
外国人留学生 特別入学試験【韓国】	2015年8月1日(土)	2015年8月11日(火)
外国人留学生 特別入学試験【台湾】	2015年8月9日(日)	2015年8月11日(火)

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部 2016年度 入学試験実施一覧

歯科衛生学科 定員：120名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦Ⅰ期(指定校) 推薦Ⅰ期(公募)	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
推薦Ⅱ期(指定校) 推薦Ⅱ期(公募)	2015年12月6日(日)	2015年12月8日(火)
一般	2016年1月31日(日)	2016年2月2日(火)
特待生推薦	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
特待生一般	2016年1月31日(日)	2016年2月2日(火)
社会人特別Ⅰ期	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
社会人特別Ⅱ期	2015年12月6日(日)	2015年12月8日(火)
試験区分	試験日	内定発表日
AO1期	2015年8月20日(木)	2015年8月24日(月)
AO2期	2015年9月27日(日)	2015年9月29日(火)
AO3期	個別にお知らせします	

※詳細はホームページをご覧ください

看護学科 定員：80名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦Ⅰ期(指定校) 推薦Ⅰ期(公募)	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
推薦Ⅱ期(指定校) 推薦Ⅱ期(公募)	2015年12月6日(日)	2015年12月8日(火)
一般	2016年1月31日(日)	2016年2月2日(火)
特待生推薦	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
特待生一般	2016年1月31日(日)	2016年2月2日(火)
社会人特別Ⅰ期	2015年10月25日(日)	2015年10月27日(火)
社会人特別Ⅱ期	2015年12月6日(日)	2015年12月8日(火)
試験区分	試験日	内定発表日
AO1期	2015年9月27日(日)	2015年9月29日(火)
AO2期	2016年3月6日(日)	2016年3月8日(火)



第51回 稲岡祭 2015.11.7(土)開催